



株式会社イノアック住環境
INOAC Housing & Construction Materials Co.,LTd

低密度水道用ポリエチレン二層管

Low-density polyethylene double-layer pipe for water supply



登録番号

SuMPO-EPD-2608-240-1

検証合格日

2026/8/31

公開日

2026/10/1

検証有効期間

2031/8/30

EPDタイプ

グループ製品EPD

※更新された場合は初版公開日

追加の準拠規格

ISO21930:2007

EPDは検証期間であっても、更新または公開が中止となることがあります。

EPDの最新版および有効性を確認するには以下を確認してください。

<https://ecoleaf-label.jp/epd/search>

●基本情報

> プログラム情報

プログラム名称	SuMPO環境ラベルプログラム
プログラムオペレーター	一般社団法人サステナブル経営推進機構
所在地	東京都千代田区内神田1-14-8 KANDA SQUARE GATE 4F
ウェブサイト	https://ecoleaf-label.jp

> GPI・PCR情報

GPI	SuMPO EPD Japan General Program Instructions v.2.1.1
PCR名称	水輸送用ポリエチレンパイプ（中間財）
PCR登録番号	PA-452210-BL-06
PCR認定日	2024/12 /10
レビューパネル委員長（所属）	山岸 健（株）LCAエキスパートセンター
PCR有効期限	認定日または更新日より5年間
PCR発行者	一般社団法人サステナブル経営推進機構

> 検証情報

検証の種類	ISO14025に従った第三者検証		
	☐ 内部	☒ 外部	
	☒ 検証員による 第三者検証	☐ 検証機関による 第三者検証	☐ EPDシステム認証 による第三者検証
検証実施者（所属）	磯部眞弓（株式会社ゼロボード）		

> 準拠規格

準拠規格	☒ ISO14040:2006	☒ ISO14044:2006	☐ ISO14067:2018
	☒ ISO14025:2006	☒ ISO21930:2007	☐ ISO21930:2017
	☐ EN15804+A2	☐ EN50693:2019	☐ ISO/IEC63366:2025

EPDに記載の情報及びEPDに記載の情報に関する環境主張についての責任はEPD取得事業者が持ちます。EPDの内容に関するご不明点、確認事項については、EPD取得事業者までお問い合わせください。

EPDの比較は、製品の機能を十分に考慮した上で実施されなければならないため、製品のライフサイクル全体を考慮し、同等の用途を想定したシナリオを適用する必要があります。EPDの比較の際に考慮すべき条件は本宣言が使用するPCRを参照してください。

EPDの比較可能性は、機能単位を適用しているものに限定されます。

環境影響評価結果はあくまで相対的な数値です。数値の大きさにより環境への影響を一概に結論づけられるものではありません。また、算定した数値は環境への具体的な影響の大きさや安全性（閾値を超過しているか等）、リスク評価（環境や人間にどれだけの影響を及ぼすか等）を直接示すものではありません。

加重平均を用いた算定の場合、ライフサイクル影響評価結果及びライフサイクルインベントリ分析関連情報、廃棄物関連情報、出力フローに関する環境情報は、特定の製品についての情報ではありません。

●EPD取得事業者情報

事業者名・部署名	株式会社イノアック住環境 技術部
住所	愛知県名古屋市熱田区神野町二丁目1番地
問い合わせ先	052-684-0266
LCA算定実施者（所属）	株式会社イノアック住環境
事業者概要	設 立：昭和50年4月24日 資本金：9000万円 製造拠点：小牛田事業所、揖斐川事業所 他 事業内容：住環境に関連した製品・商品の製造・販売 建設工事に関する測量・調査・施工・請負・監理 土地の盛土・造成工事並びに防水工事の請負・施工・監理 他

●製品情報

製品名称		低密度水道用ポリエチレン二層管	
製品の型式		NPEW1-13、NPEW1-20、NPEW1-25、NPEW1-30、NPEW1-40、NPEW1-50	
製品仕様	製品質量	0.184kg/m~1.216kg/m ※サイズによる	換算係数 —
	製品機能	水輸送用	
	製品の用途	給水用	
	技術性能	JIS K 6762	
耐用年数	年数	50年	
	使用条件	水温20℃、水圧1.0MPaにて使用した場合。	
	年数を設定した根拠	JIS K 6762	
製造サイト（製造拠点）		小牛田事業所、揖斐川事業所	
製品概要		低密度ポリエチレンから作れた配管製品であり、主に給水分野での送水用配管として使用される。	
製品ウェブサイト		https://www.inoac-iuukan.co.jp/product/product001823.html	

●材料及び物質に関する構成要素

製品構成要素	割合 (%)	質量	
低密度ポリエチレン	99.2	1.00	kg
カーボン	0.8	0.01	kg
包装材構成要素	割合 (%)	質量	
PEチューブ	3.6	0.00	kg
クロスラミ	89.9	0.01	kg
キャップ	6.4	0.00	kg
透明PE袋	0.04	0.00	kg

●生物由来炭素含有量

項目	含有量 (kg-C)	含有量 (kg-CO ₂ eq)
製品あたりの生物由来炭素含有量	—	—
提供元にわたる包装資材の生物由来炭素含有量	—	—

●LCA 関連情報

> EPDタイプ情報

EPDタイプ	製品タイプ	☐ 単一製品	☒ グループ製品	☐ 業界製品
	サイトタイプ	☐ 特定サイト	☒ 複数サイト	
	開示方法	☐ 特定値	☒ 加重平均値	☐ 代表値 ☐ 上限値
地理的範囲		グローバル		
複数製品/複数サイトを 含むEPDにおける 代表性の説明		当該製品の全体生産量の80%を占める代表2サイトからデータを収集し、宣言単位あたりの質量を製造拠点ごとの生産量に基づき荷重平均した値を用いているため代表性が担保されている。		
複数製品/複数サイトを 含むEPDにおける、算定結果の 上下幅に関する説明		本EPDの対象製品は同一の材料配合から成り、サイトによる生産工程も基本的に同一であるため製品1kgあたりの環境影響量は上下10%以内に収まる。		
複数製品EPDの説明		サイズの異なる6品番からなるグループ製品EPDである。		

> LCA関連情報

宣言単位	1kg		
宣言単位あたりの質量 (質量への換算係数)	—		
基準フロー (機能単位を満たすために に必要な製品数)	—		
システム境界	☐ Cradle-to Gate	☒ Cradle-to-Gate with options	☐ Cradle-to-Grave
LCAソフトウェア	MiLCA for EPD ver3.2.0.0		
LCIデータベース	IDEA ver3.1		
特性化モデル	気候変動：IPCC第5次評価報告書(IPCC,2013年)、その他の影響領域：LIME2		
その他のバックグラウンドデータ	なし		
二次データ品質	GPIに規定の二次データ品質を満たしたデータを用いて算定を行った。		
一次データ収集拠点	小牛田事業所、揖斐川事業所		
一次データ収集期間	2024年10月～2025年9月		
生物由来炭素の取り扱い	☒ 0/0アプローチ	☐ -1/+1アプローチ	
電力契約に 関する情報	有無	☒ 国や地域の平均的な電力ミックス	☐ その他
	種類	—	
	購入日	—	
	発行元	—	

> 算定対象段階

原材料調達	製造	流通	使用・維持	最終(EoL)
☒	☒	☒	—	☒

■：算定対象 —：算定対象外

> アロケーション

本算定では、GPIに記載の手順でプロセスの細分化およびアロケーションを行った。特に製造工程における原材料、電力の割り当てについては製品の性質上、対象製品と対象外製品に対する工程や時間に変化がないことから工程による生産量割合で対象製品へのアロケーションを実施した。

> カットオフ

なし

> システム境界

PCRに基づき設定を行った。GPIおよびPCRにて境界外プロセスと定められた、使用段階をシステム境界外とした。

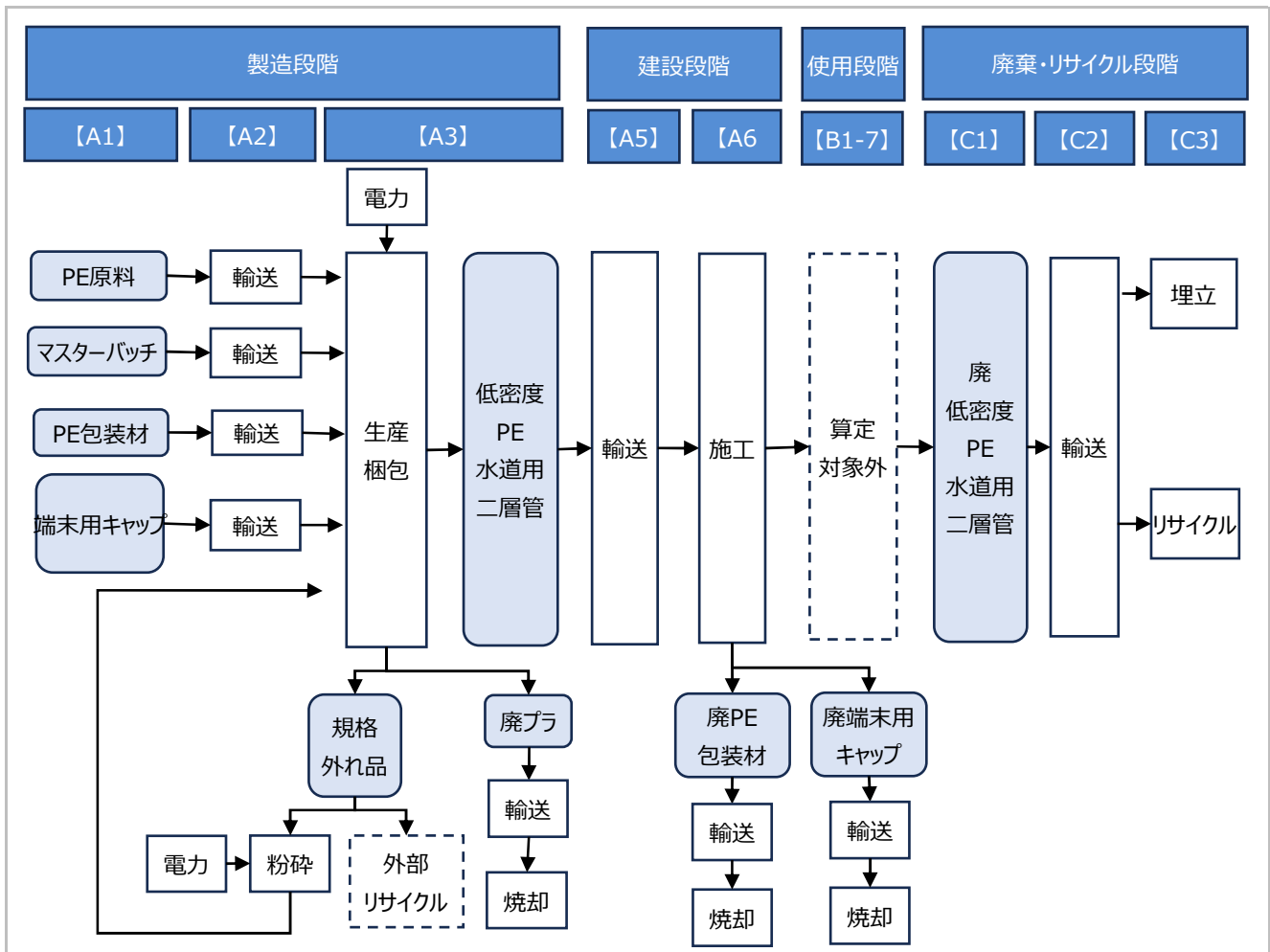
> シナリオ

A2・・・原材料の輸送手段において、PCRシナリオを使用した。
A3・・・廃ブラの輸送手段及び輸送距離において、PCRのシナリオを使用した。
A4・・・製品の施工現場への輸送手段及び輸送距離において、PCRのシナリオを使用した。
A5・・・廃梱包材の輸送手段及び輸送距離において、PCRのシナリオを使用した。
C2・・・使用後の製品の輸送手段、輸送距離においては、PCRのシナリオを使用した。
C3・・・使用後の製品の処理方法については、PCRのシナリオに基づき71.9 %リサイクル、28.1 %埋立として計算した。

> 電力モデリング

対象とする全てのライフサイクル段階において、2018年における日本平均の系統電力のデータを用いて算定を行った。

> ライフサイクルフロー図



Environmental Product Declaration for Low-density polyethylene double-layer pipe for water supply

●算定結果

> ライフサイクル影響評価結果

		製造段階	建設段階	使用段階	廃棄・リサイクル段階
気候変動	kg-CO ₂ eq	2.52E+00	2.01E-01	—	6.31E-01
オゾン層破壊	kg-CFC-11eq	1.49E-07	3.87E-10	—	7.19E-09
酸性化	kg-SO ₂ eq	3.03E-03	5.68E-04	—	4.73E-04
都市域大気汚染	kg-SO ₂ eq	2.17E-03	2.18E-04	—	2.67E-04
光化学オキシダント生成	kg-C ₂ H ₄ eq	3.05E-05	1.19E-06	—	9.46E-07
有害化学物質(発がん性)	kg-C ₆ H ₆ eq	3.02E-04	8.02E-06	—	1.21E-04
有害化学物質(慢性)	kg-C ₆ H ₆ eq	2.28E-05	5.39E-07	—	3.64E-07
水生生態毒性	kg-C ₆ H ₆ eq	3.23E-03	3.13E-06	—	3.80E-04
陸生生態毒性	kg-C ₆ H ₆ eq	7.90E-02	7.38E-05	—	1.30E-03
富栄養化	kg-PO ₄ ³⁻ eq	2.42E-05	1.28E-09	—	2.18E-08
土地利用(維持)	m ² /年	1.16E-02	1.38E-02	—	1.58E-03
土地利用(改変)	m ²	8.76E-04	2.76E-04	—	3.24E-05
資源消費	kg-Sbeq	5.62E-05	6.98E-07	—	4.26E-07

> ライフサイクルインベントリ分析関連情報

		製造段階	建設段階	使用段階	廃棄・リサイクル段階
非再生可能資源	kg	8.87E-03	8.68E-04	—	1.40E-02
非再生可能エネルギー	kg	1.82E+00	5.10E-02	—	2.86E-02
非再生可能エネルギー	MJ	8.02E+01	2.29E+00	—	1.23E+00
再生可能資源	kg	4.58E-02	7.31E-06	—	1.22E-04
再生可能エネルギー	MJ	3.29E+00	9.89E-03	—	1.73E-01
淡水の消費	m ³	7.14E-03	5.29E-06	—	3.59E-05

> 廃棄物関連情報

		製造段階	建設段階	使用段階	廃棄・リサイクル段階
有害廃棄物	kg	0.00E+00	0.00E+00	—	0.00E+00
無害廃棄物	kg	6.63E-04	2.26E-04	—	4.84E-01
一般廃棄物 埋立物	kg	7.05E-08	6.82E-16	—	1.30E-14
産業廃棄物 埋立物	kg	6.63E-04	2.26E-04	—	4.84E-01

※ライフサイクルにおける廃棄物量を示しています。

> 出力フローに関する環境情報

		製造段階	建設段階	使用段階	廃棄・リサイクル段階	
再利用可能な部品		kg	0.00E+00	0.00E+00	－	0.00E+00
リサイクル用材料		kg	2.40E-02	0.00E+00	－	7.19E-01
エネルギー回収用材料		kg	0.00E+00	0.00E+00	－	0.00E+00
廃棄物からの排出エネルギー (エネルギー回収効率 ≧ 60%)		MJ	0.00E+00	0.00E+00	－	0.00E+00
廃棄物の焼却 (エネルギー回収効率 < 60%)	廃棄物焼却処分量	kg	4.70E-04	1.31E-02	－	0.00E+00
	回収エネルギー	MJ	1.70E-03	0.00E+00	－	0.00E+00
廃棄物の埋立 (廃棄物の埋立により発生する 埋立ガスからのエネルギー回収)	廃棄物埋立処分量	kg	0.00E+00	0.00E+00	－	2.81E-01
	回収エネルギー	MJ	0.00E+00	0.00E+00	－	0.00E+00

> LCA算定結果に関する説明

- ・製造サイトにおける各活動量は一次データを収集していますが、本EPDの対象外製品と共通する原料、電力等を使用しているため生産量に基づきアロケーションを行っています。
 - ・一部の輸送プロセスでは一次データの収集が困難であったためPCRシナリオを使用しています。
 - ・製造時に発生した規格外品は、一部はリペレット化し同製品の原料として再利用し、残りの一部はリペレット化し別の製品の原料として再利用しています。
- ※「出力フローに関する環境情報」リサイクル用材料の項目に重量を記載
- ・製造時の材料替えにより発生した廃プラは、焼却時にサーマルリサイクルを行っています。
- ※「出力フローに関する環境情報」廃棄物の焼却（エネルギー回収効率＜60％）の項目に重量及び回収エネルギー量を記載

●追加の環境関連情報

> LCAに関連しない追加の環境情報

—

> 有害物質に関する情報

有害物質名	CAS No.	適用される基準または規制の参照
—	—	—
—	—	—
—	—	—

●用語の定義

—

●参考文献

- ・ISO14025:2006 Environmental labels and declarations — Type III environmental declarations — Principles and procedures
- ・ISO14040:2006 Environmental management - Life Cycle Assessment - Principles and framework
- ・ISO14044:2006 Environmental management - Life Cycle Assessment - Requirements and guidelines
- ・ISO 21930:2007 Sustainability in building construction — Environmental declaration of building products

●改訂履歴

—